

立命館大学で出前講座

座学と鉄筋組立を 2 日間に分け開催

関西鉄筋工業協同組合（岩田正吾理事長）は 7 月 7 日と 14 日の二日間、滋賀県草津市の同大学びわこ・くさつキャンパスで出前講座を開催し、理工学部建築都市デザイン工学科の 3 年生 60 人が受講しました。同大学での開催は 2 年続けてとなります。

このうち、7 日に開催された座学では岩田理事長と関西圧接業協同組合の濱野功理事長による講義が行われ、建設業界や職人を取り巻く現状や圧接の役割などについて分かりやすく紹介されました。

また、14 日に行われた鉄筋組立作業の体験と圧接作業の見学及び体験では、班ごとに分かれた学生たちがハッカーを使って鉄筋の結束作業に取り組んでいました。最初は慣れない手付きでハッカーを使っていた学生たちも、職人の指導を受けながら少しずつ上達し、作業を進めるに従ってうまく結束できるようになっていました。組立体験では 3 級検定モデルとして検討中の柱・梁の実寸組み立てに挑戦しました。また、この間には圧接作業の実演見学と体験も行われ、熱心に見入っていました。

なお、今回の立命館大学の出前講座のうち、14 日の実技体験には辻本青年部長をはじめとする青年部のメンバーが中心となって参加、指導にあたりました。

- ・ 辻本青年部長（辻本鉄筋工業）今村青年部副部長（吉岡工業）、小泉さん（小泉組）、直山さん（同）、福本さん（福本鉄筋工業）、又野さん（又野鋼業）、古川さん（古川鉄筋）、鎌田さん（鎌田鉄筋工業）、松岡さん（松岡工務店）、田中さん（関西スチールフォーム）、日浦さん（金本鉄筋工業）、金井さん（金井）、職人さん 6 名（福本鉄筋工業、又野鋼業、長木鉄筋、城東鉄筋、田村工業、辻本鉄筋工業）

講座状況

